

作業用土のうの流出について（第二報）

昨日、国道19号の落合橋側道歩道橋上部工事において、上部工架設を行うために設置していた作業用土のうが一級河川田川の増水に伴い流出する事象が発生したことを受け、本日、8:30より応急復旧作業を開始しました。

昨日、関東地方整備局長野国道事務所発注の国道19号松本拡幅事業のR5国道19号松本拡幅落合橋側道歩道橋上部2工事において、上部工架設を行うために設置していた作業用土のうが一級河川田川の増水に伴い約100袋流出する事象が発生しました。

本日、8:30より、別紙のとおり、流された土のうの回収及び応急復旧を開始しました。

応急復旧としては、不安定となったベント※2基を一時的に撤去するとともに、流出した作業用土のうの代替え措置として、消波ブロックを設置します。

なお、現時点で、人的被害や第三者被害は確認されていません。

地域の関係の皆様には大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

応急復旧の結果等については、別途お知らせいたします。

※橋桁を一時的に支える土台

<発表記者クラブ>

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 長野市政記者クラブ・長野市政記者会・長野県庁会見場

<問い合わせ先>

関東地方整備局 長野国道事務所

電話:026-264-7001 (代表) FAX:026-264-7042

副所長(技) 関口 広喜(せきぐち ひろき) (内線 204)

工務課長 三森 基裕(みつもり もとひろ) (内線 411)

○工事概要

本工事は、国道19号の長野県松本市白板（しらいた）地先において、落合橋側道歩道橋の上部工架設を行う工事です。

工事名 R5国道19号松本拡幅落合橋側道歩道橋上部2工事

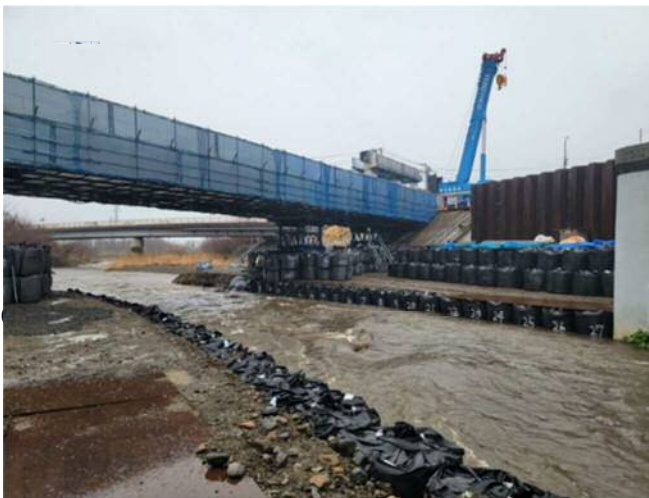
受注者 JFEエンジニアリング株式会社

工事場所 長野県松本市白板（しらいた）地先

○位置図



○土のうの流出状況



流出前



流出後

